

文化芸術振興課長の仕事宣言！ 進行管理表

文化芸術振興課 課長 村山 一成

①重点施策項目名	多彩な文化事業の展開を図ります
②目標値	(平成28年度) アウトリーチ実施回数 31回 (平成32年度) アウトリーチ実施回数 35回
③今年度の取組方針	・質の高い文化芸術を鑑賞したり、体験したりできる機会を提供するため、アーティストを幼稚園や保育園、小中学校、まちづくり推進センターなどの施設に派遣します。
④上半期の取組内容	6月17日から9月15日までの間に、市内の保育園、幼稚園、小中学校など18か所でピアノやバイオリン、マリンバなどの訪問演奏を実施しました。 小中学校5校では、童話や小説の朗読とピアノ演奏を組み合わせた作品を鑑賞してもらいました。
⑤下半期の取組内容	市内の保育園、幼稚園、小中学校、まちづくり推進センターなど21か所への訪問演奏を実施しました。また、来年度実施に向けた各施設の意向調査を実施しました。
⑥数値目標の結果	予定していた39か所すべてで各1回アウトリーチを実施し、今年度の目標値を達成できました。
⑦成果と課題 (次年度に向けて)	派遣するアーティストの分野や派遣先をさらに広げて、身近な場所で質の高い演奏や演技に気軽に触れていただく内容としたい。

◇所管部長の指示

上半期

今後とも、継続して訪問演奏の実施を心がけること。

下半期

実績を踏まえ、地域の方々にとってより身近な催しとなるように実施すること。

文化芸術振興課長の仕事宣言！ 進行管理表

文化芸術振興課 課長 村山 一成

①重点施策項目名	市民文化活動を振興し、文化芸術を担う団体・人材の育成を図ります
②目標値	(H28) 文化事業入場・参加者数 28,000人 (H32) 文化事業入場・参加者数 30,000人
③今年度の取組方針	・コンサートや演劇、落語、映画など優れた文化芸術の催しを招致し、市民に鑑賞の機会を提供します。
④上半期の取組内容	ザ・クロマニヨンズコンサートや山口智充のトークライブ、日本優秀映画上映など14事業を行い、約14,000人の参加がありました。 今後の催し物については、市文化事業協会と協力し5事業の開催を決定しました。
⑤下半期の取組内容	桂文枝落語会や劇団四季ミュージカル、各種コンサートなど9事業を行い、約14,000人の参加がありました。
⑥数値目標の結果	入場者及び参加者の総数は28,625人となり、今年度の目標値を達成できました。
⑦成果と課題 (次年度に向けて)	アンケートなどにより来場者の意見を聞き、今後も様々な分野の優れた文化芸術を鑑賞する機会を市民に提供したい。

◇所管部長の指示

上半期

事業の実施に当たり、採算性も視野に、市民ニーズに沿った魅力ある取組とすること。

下半期

身近な場所で優れた文化芸術に親しむよい機会であり、今後も採算性を考慮しつつ、魅力ある事業メニューの検討を進めること。

文化芸術振興課長の仕事宣言！ 進行管理表

文化芸術振興課 課長 村山 一成

①重点施策項目名	市民文化活動を振興し、文化芸術を担う団体・人材の育成を図ります
②目標値	(H28) 市民文化祭入場・参加者数 19,000人 (H32) 市民文化祭入場・参加者数 22,000人
③今年度の取組方針	・次世代の文化芸術を担う団体や人材を育成し活動の成果を発表する場を提供するため、文化団体や実行委員会と連携し市民文化祭を実施します。
④上半期の取組内容	6月から9月にかけて実行委員会を開催し、市民文化祭の日程や実施内容を決定しました。 8月までに文化祭の出演者や出品作品などを募集しました。また、若い世代の参加を促すため、高校生の作品コーナーや中高生の吹奏楽演奏会を企画し、市内の学校へも参加を呼びかけました。
⑤下半期の取組内容	11月3日～6日及び11月9日に市民文化祭を開催し、11月5日は防災フェスタも同時に開催しました。また、市内の学校の協力を得て、高校生の絵画や書などの作品展示や中高生による吹奏楽演奏会を行いました。
⑥数値目標の結果	入場者及び参加者の合計は、延べ23,252人となり、今年度の目標値を達成できました。
⑦成果と課題 (次年度に向けて)	若い世代の作品や演奏を市民に披露することができましたが、一方で舞台部門への参加者が減少しています。さらに参加者を増やす魅力ある内容と集客に向けた取り組みを実行委員会で検討したい。

◇所管部長の指示

上半期

市民に親しまれ、創作活動の意欲向上に繋がるような文化祭となるよう検討を重ねること。

下半期

市民に親しまれ、創作活動の意欲向上と魅力ある文化祭となるよう検討を重ねること。